

牛久：学校周辺に見る自然

第26号

ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2021年9月27日発行

< 夏のみずべ公園 ～樹木 >

6/28、7/15のみずべ公園、今回は樹木です。



咲いている花は少なく、シモツケとヤマハギ、ナンキンハゼくらいでした。初夏に花が咲いていたエゴノキやハコネウツギ、ヤマボウシなどは果実がふくらみ、春に咲いていたコナラやクヌギ、イヌシデ、ウワミズザクラなどは果実が熟し、オオカンザクラやヤマザクラの実はすでになくなっていました。

【理科支援員 宮内】

シモツケ。



マメ科のなかま、ヤマハギ(左)と、そのアップ(右)。



学校のまわりの街路樹にもなっているナンキンハゼ。



5月の観察のとき咲いていて、果実が大きくふくらんだエゴノキ(左)と、ヤマボウシ(右)。



5月の観察とき咲いていたハコネウツギの果実(左)と、6月に咲いて日に日に実が大きくなるクリ(右)。



5月の観察のとき咲いていたシラカシのどんぐり(左)と、その拡大(中)、時々見つかるふたごのどんぐり(右)。



5月に咲いていたアラカシ(左)と、4月に咲いていたコナラのどんぐり(右)。



4月に咲いていたクヌギ(左)と、昨年の春に咲いたクヌギの2年目のどんぐり(右)。クヌギのどんぐりは、2年かけて熟す。



4月なかばに咲いていたウワミズザクラの6/28の果実(左)と、7/15の果実(右)。



4月末に咲いていたイヌザクラの6/28の果実(左)と、7/15の果実(右)。



3月末に咲いていたコブシの果実(左)と、冬芽(右)。



イヌシデ(左)、アカシデ(中)の果実と、メタセコイアの球果(右)。